

第158回定時株主総会 事前質問への回答

2024年6月25日(火)の第158回定時株主総会の開催にあたり、事前に株主様専用ウェブサイトにていただいたご質問の中から、**株主の皆様のご関心の高かった事項**について、以下の通り、ご回答申し上げます。

ご質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

Q1. 本年6月3日に公表しました型式指定申請に関する事案の原因と再発防止策について

A.

今回の事案は、型式指定申請の試験において、法規と異なる手順で試験を実施したものです。これは、マネジメントが行うべき業務整備が不足し、業務プロセスの一部を現場判断にゆだね、現場に負担をかけてしまったことによるものと考えています。

再発防止に向けては、法令順守はもとより、倫理観に基づいて、全員が正しい仕事を積み重ねることができる風土や、不測の事態の際には、すぐに止まり対応することができる仕組みと体制をつくっていかねばなりません。これは、人の意識を変えていく取り組みでもあり、私たち経営陣自らが現場とともに、取り組まねばならないものです。

風土・仕組み・体制での総合的な施策を通じて、実効性のあるガバナンスを追求し、皆さまからの信頼回復に向け全力で取り組んでまいります。

Q2. 当社株価の向上及び株主還元に対する考え方について

A.

株価の向上は当社経営陣の重要な責務であると考えております。とりわけ重要なのは足もとの確実な収益の向上と、将来のビジネス継続・成長へのシナリオをお示ししながら、ステークホルダーの皆様から信頼し続けていただくことであると考えております。

足もとの収益については、2024年3月期の自己資本利益率(ROE)は13%となり、着実に向上しており、今後、経営効率の改善を推進し、安定的な収益及びキャッシュフローの確保とさらなる向上に努めてまいります。また、将来の投資戦略やカーボンニュートラル対応、電動化など2030経営方針でお示したのものについて、具体的な計画の進捗を、ステークホルダーの皆様にご説明させていただき、当社の持続的な成長をご期待いただくことが、株価の向上につながると考えております。

株主様への還元につきましても、中期経営計画で掲げた配当性向30%の目標達成に向けて、引き続き、安定的な配当と確実な増配を目指してまいります。

Q3. 当社のバッテリーEVの開発に対する考え方について

A.

当社は、電動化マルチソリューション戦略のもと、バッテリーEVに関しては「意志あるフォロワー」としての戦略をとるとご説明してまいりました。2023年11月に電動化事業本部を発足させ、2030年までは意志を持ったフォロワーとして新しい技術を学び、蓄積し、技術開発しながら、2027年には当社初のバッテリーEV専用プラットフォームを使用した商品をグローバルで導入すべく開発を進めております。

EVであってもマツダらしさである「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」の両立を進化させると共に、EVであることを生かし新しい価値を織り込んでまいります。

当社は、2007年の「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言」以来、ブランド価値の柱として「デザイン」、「ひと中心のクルマづくり」、「運動性能による走る歓び」、そして、「安全・安心に対する知見」を積み上げてまいりました。これらの柱は、動力源が何であれ、動くことのないマツダの強みであり、バッテリーEVの世界では、より強化できるものと考えています。こうした強みをもとに、軽くなやかで、環境負荷の改善に貢献する、そんなバッテリーEVを体現し提供してまいります。

以 上